

令和5年度 第1回長野市立図書館協議会開催概要（要旨）

1 日 時 令和5年7月27日（木）午後2時00分～午後3時50分

2 場 所 南部図書館2階大会議室

3 出席者

- (1) 委員9名 海沼桂子委員、勝田祝子委員、小池博明委員、小林孝子委員、向紀男委員、村田信行委員、村田みつ子委員、柳沢久子委員、吉澤多恵子委員
- (2) 事務局10名 教育次長 藤澤勝彦
家庭・地域学びの課長 野池達朗、主査 西村友香
長野図書館長 本間尚治、主幹兼館長補佐 稲葉聡子、館長補佐 鈴木正文
係長 人見一由
南部図書館長 松本直樹、館長補佐 小林雅治、司書 芹沢広美

4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 任命書交付
- (3) 教育次長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 委員長選出・委員長職務代理者指名
- (6) 委員長あいさつ
- (7) 協議事項
 - ア 令和4年度事業報告について
 - イ 令和5年度事業計画について
 - ウ その他
- (8) その他
- (9) 閉 会

5 議事内容

- (1) 開 会 <開会のことば>
- (2) 任命書交付 <新任委員へ任命書を交付>
- (3) 教育次長あいさつ

教育次長：本日は、お忙しい中ご出席をいただき感謝申し上げます。本年6月から2年の任期中、本日第1回目となる。各団体からの推薦や公募など、各方面の皆様からご協力いただき、会議が開催できることに重ねて御礼を申し上げます。図書館は本市の教育文化の発展のため大変重要な場であり、市民の要望にこたえながら、市民に親しまれ、また生涯学習に貢献する図書館を目指して各種事業を実施している。本市では市立図書館として、長野図書館、南部図書館の2館を運営するとともに、移動図書館として3台の車両により、市内91ヶ所20コースに分けて巡回、貸し出ししており、さらに市立公民館・交流センター28館に図書館分室を設置し、閲覧貸し出しも行っている。加えて、市民文庫として、市内31か所の福祉施設等に配本するなど、きめ細やかな図書館サービスを進めている。また、昨年8月からは県と市町村による協働電子図書館「デジとしょ信州」の運用が開始されている。デジタル社会に即した学習環境を整えることにより、様々な

読書の形の選択肢をご用意し、市民の要望にこたえられる図書館運営を目指しているところである。次にお知らせになるが、今年度、南部図書館は建物の耐震補強等の工事を行うため、11月から来年の3月までの5か月間、休館させていただく。利用者の皆様にはご迷惑をおかけするが、ご理解いただくよう広報周知をさせていただく。本日は、市立図書館の令和4年度の事業実績及び令和5年度の事業計画についてご審議をお願いするが、委員の皆様には、より市民に親しまれ、利用しやすい図書館とするため、忌憚のないご意見、ご提案をいただくようお願い申し上げます。

(4) 自己紹介 <各委員、事務局が自己紹介>

(5) 委員長選出・委員長職務代理者指名 <委員長に村田委員、委員長職務代理者に小池委員が決定>

(6) 委員長あいさつ

委員長：委員長に就任することになった清泉女学院短期大学国際コミュニケーション科の教授の村田信行です。図書館長になり3年目。私の専門はイギリス文学で、ディケンズとかステューブソン等を研究していたため、図書館には昔から随分お世話になった。母校の大学や東京周辺の大学でお世話だったが、地元の図書館のことに関わるとしてなかったのが驚いている。皆様のご協力よろしくをお願いします。

(7) ア 令和4年度事業報告について

<事務局から「令和5年度図書館概要」により説明>

委員：長野図書館と長野南部図書館の蔵書はパソコンで見ることできるのか、また、借りられるようになっていいのか。昔、学校で司書をしていたが、学校に無い本を借りたいときもあった。巡回している車で学校にも運べるかなど、そういうシステムはできているのか。

事務局：学校図書館のパソコンとは連動していないが、ホームページでは確認が可能。学校の場合は「団体貸し出し」として、学校図書館の先生が実際に来て選んでいただくことはできる。

委員：何冊まで借りられるのか。

事務局：団体貸出は100冊まで。期間は1か月。中山間地の小中学校に関しては使送便で対応。FAX等で置き置きも可能。

委員：この頃はコンピューターで調べ学習も多くなってきているが、やはり確実なのは本だと思う。フェイクニュースはないし、必ず誰が発行しているか書いてあるので、信用できる情報だと思いき、本を薦めている。

委員：最初にお話が出た南部図書館耐震改修について。大体、耐震改修をやるときは、耐震改修とともにいろいろ改修があると思うが、その辺のお話をお願いしたい。

事務局：耐震については、1階に耐震壁を2か所設置する。併せて、電灯はLED化、空調設備を更新、トイレ（1階及び2階）全面改修、エレベーター改修等を行う。よって5か月休むことになる。

委員：機能を新しくするという事はないのか。

事務局：市の事情としては、いろいろな施設等が老朽化しており、維持修繕が目白押しになっている。今後施設の新築は難しい状況の中で、現在の機能を維持しながらできるだけ利用しやすいようにするという事。南部図書館は老朽化が激しく、修繕で対応をしていかなければならない状況をご理解いただきたい。

教育次長：南部図書館については、篠ノ井地区の中では「西側に移転」という話や、篠ノ井地区

全体として「西側以外」、それから、市立図書館なので「篠ノ井以外」という意見もある。ただ、老朽化が激しく危険であるため、まずは直させていただく。その間に市のまちづくりとあわせて、現在の場所がいいのか、駅の西口がいいのか、それとも別のもっと広いところで探して新しく作るのか、その辺をこれから決めていきましょう、という状況である。

委員：予算の面は今どこも大変。南部図書館だけでなく長野図書館も含め、図書館はその町の文化の水準を表す施設であると思う。最近ショックなことがあった。県外から来た方（転勤族）で、いろいろなところを西から東から回られてきた方が、長野市の図書館が今までめぐってきたところに比べるとちょっと・・・ということを言われた。その方は、長野県というと教育というイメージがすごくあり、お子さんもまだ学校に通学している年代の方なので、期待してきたところ・・・というお話をお聞きした。大変な面はあると思うが、今、教育次長さんのお話をお聞きして安心した。よろしくお願ひしたい。

委員長：世の流れとして図書館にかけるお金は減っている。市町村の財政状況も悪く本の数も減っていて、デジタル化はとても大きい。司書も減っており、良くない時代背景である。この場にいる委員の皆様は、世の中の状況はわかっているが、実際長野の図書館行政はどうなのか気にしていると思う。財政が良くないと、結局図書館にも予算が回ってこないと思う。

教育次長：中核市の中でも長野市ほど公共施設を持っているところは無い。体育館とか学校や支所などいろいろなものを持っていて、それを維持していかなければならない。オリンピックで造った大きなものもあるので、やはり財政当局とすればお金がないし、何とか集約していきたいという思いはあるようだ。図書館については、最近、富山市や金沢市が素晴らしい図書館を造っており、一流の方が設計をしていて中も素晴らしい。本を借りるだけではなくて、その中で過ごせ、居場所にできるような、今までとは全く違うコンセプトのものができている。今、長野市に（そうしたものが）建てられるかという、敷地的な問題もあって厳しい。もっと大きいものをどこかに建てるのかなど、財政的な部分もあるので、まずは使えるようにさせてください、その後、地域の皆さんと考えましょう、ということで、ある意味先送りのような話になってしまうが、そのようなことで進めさせていただいている。図書館の体制や他の図書館との比較というのは、皆さんよくお耳にされていると思うし、私もいろいろなところで言われていて承知はしている。

委員：私は小布施の図書館によく行く。とても活発にやっていて使いやすい。そういう図書館を作って欲しい。それと長野図書館の駐車場のことだが、すごく使いづらくて入りづらい。どこに止めたらいいのかということが結構ある。信濃教育会の（駐車場）も借りられるという話があったが、どこのことか。

事務局：長野図書館のウィークポイントは駐車場である。長野図書館には敷地の中と簡易な立体駐車場がある。2つ入口がある関係で非常にわかりにくいこともある。現在シルバー人材センターに駐車場整理をお願いしているが、下で待っていたら上の方が早く空いてしまったなど、お叱りを受けることが良くある。できるだけ私も現場に立ちながら工夫している。道を挟んで向かいが信濃教育会の建物になっており、南から長野図書館に来る場合、図書館は右側に入るが、左側に曲がる駐車場が2か所あり、土日祝日は看板を立てて誘導している。

委員：敷地外の駐車場の斜めに駐車するところがあるがあれは何か。

事務局：あれは路上パーキングである。9時～19時の時間体は斜め線に沿って、どなたもお使いいただけるパーキングになっている。

委員：開館時間のことだが、長野図書館の開館時間が9時45分からというのが使いにくい。県立図書館は9時開館だが、公の施設なのにどうしてこんな時間なのかなと前から不思議に思っている。もう少し早くできないか。

事務局：できるだけ早くから遅くまで開館している図書館が便利だというのはおっしゃるとおりである。市立長野図書館は平日夕方7時まで開館、土日は6時まで開館している。県立図書館と比べて、長い部分も短い部分もある中で、朝は現在9時45分ということである。10時開館や9時開館という図書館もあり、長ければ長いほど良いところはあるが、こちらの人練りが今のところが精一杯という事情になっている。

委員：それともう一つ、27ページの入館者数と貸出利用者数の表を見て感じてしたが、入館者の中で63%の方が本を借りている。残りの方は借りていない。この表を見て感じたのは、例えばクールシェアとかウォームシェアとか今話題になっているが、そういう意味で図書館というのは長く開いてたほうが良いのではないかということもある。また、高齢者など行き場のない人たちのスペースという意味でも、ただ本を貸すだけということではなく、市民へのサービスの場所ですよ、文化を発信する場所ですよ、図書館に行く気持ちがいいですよ、というような、皆さんでサービスを提供するという視点を是非強く持っていただければと思っている。

教育次長：市民サービス、住民サービスのためにやっていかなければと思うが、先ほど館長が言ったようにすべては「人」である。それだけの時間帯のシフトに入れる人を雇うためには何かを減らさなければいけないとか、図書館にこれだけお金をもっとかけなければいけないところだと思う。当然「お金をかけろ」ということだと思うが、財政状況もあり、今は何とかギリギリでこの時間でやっている。今後、新しい図書館の話と一緒に考えていかなければいけないと思っている。

委員：私が申し上げたいのは、建物とかハードの面ではなく居心地の良さである。長野図書館のトイレの狭さ。あと赤とブルー（使用中と空き）の表示が曖昧。一度言ったことあるが、赤いマジックでちょっと塗るだけでいいと思うが、ずっとあのままの状態で2年ぐらいたっている。それはお金の問題でもなく、気配りの問題ではないかと思っているが、いかがか。

事務局：職員で色を塗ってみたがすぐに色が落ちてしまう。何とかしようと思っている。

（7）イ 令和5年度事業計画について

〈事務局から「令和5年度図書館概要」により説明〉

委員：図書館概要は役に立つ資料が多く入っている。きめ細かい分析をされていて良い。

委員：長野図書館、南部図書館両方のことだが、イベント等（おはなし会や図書館まつり）の広報は、どの程度発信しているのか。私は南部図書館を使っており、おはなし会をやらせてもらっているのですが、南部図書館の情報は張り巡らしてはいるが、長野図書館の方はあまり知らず、「大人のためのお話会」というのを知らなかった。たまたま市のホームページを見て知ったが、何を見ればそういう情報がわかるのか。

事務局：通常は「広報ながの」などに載せているが、今回の「大人のためのお話会」の記事については「広報ながの」に間に合わなかった。図書館のホームページや市民新聞には掲載した。今後はしっかり広報していきたい。

委員長：図書館の本体の業務を含めて、イベントなどのPRは基本的にホームページなのか。

事務局：ホームページは私どもで全部作りこみができるので、お伝えしたいことを全部入れられ

るということで、一番向いているところである。また、全戸配布する「広報ながの」に特集の月があるので、それを活用したり、あとは市民新聞や信濃毎日新聞の他ローカル紙を中心にPRをするのがオーソドックスなところ。これからの時代なのでSNS等もあるが、私自身はとても苦手なところなので、若い職員に頑張ってもらいたいと思っている。

委員長：広報、PRは常に大事なことである。

委員：私も毎月「広報ながの」を目にしている。催し物とかいろいろな行事が載っている。それを見ると、図書館で今日、今月はこれがあるということがわかって、都合がつけば伺ったりしている。だから「広報ながの」のをよく見ていただければ一番わかりやすいと思う。

委員長：常に広報が大事だが、この時代なのでインターネットのホームページに載せるのが一番ではないか。若い人はSNSは絶対必要だが、少しそれは私にもよくわからないところがある。SNS関係は一番若い職員から聞いた方がいいと思う。また改善よろしくお願ひしたい。他にご意見等ありますか。

委員：先ほど発信方法で、「広報ながの」という話があったが、毎月月末になると家のポストに投函されている。偏見かもしれないが、今の若い方は多分中を見ずにそのままごみ箱へという方が多いと思う。同じ子供を持つ同じ世代のお母さん方とも広報の話は絶対話題に出てこない。私は結構そういうものを見て取っておく方だが、興味がわかないとなかなか見えないというのものもある。おそらくスマホでよく出てくるもので、発信されると見ることにはなるが、読み聞かせ講座などは学校主催でやると学校の先生方もあまりいい顔をしない。国語や算数の方が主だと思うので、学校主体だとこういう機会が無い。それぞれのPTAの方にこの読み聞かせ講座など呼びかけてもらおうと、PTAの方ではこういう活動をできるのではないか。本当に短時間で良いので、参観日の折とか学校に行った折に予定を合わせていただいて、赤ちゃんのお話会のような、良い本の読み聞かせなどをしていただくと良いと思う。先ほどの資料にもあったが、7歳以上の図書館の利用者が少ない。スマホは目にもよくないというのものもあるので、PTAの方などに申し入れていただき、読み聞かせを学校でやってもらえばいいかなと思うが、いかがか。

委員：学校でPTAの方で、読み聞かせグループを立ち上げていないか。

委員：立ち上げてはいない。

委員：図書館の先生と協力して是非やってみていただきたい。私は朝陽小学校でやっている。学校との連携は図書館の司書の先生にやっていただき、いつ入るかを決めてもらう。各学年に入るように。今は、朝15分いただいて読み聞かせをしている。そういうこともできるので、提案してみただけでないか。

委員：朝の読書の時間はあるが、個人個人が学校の図書館から借りてきた本を読む程度で終わっている。

委員：それを1か月に1回とか、2週間に1回とか決めて、学校側との交渉になるが、図書館の先生に聞いてみて調整していただく。一度に何回もやらなくていいので、最初は少しずつ始めていく。ひとクラス何人か。

委員：大きい学校なので30人くらい。

委員：各クラス1人ずつ入るとか1学年で何人入るとか決める。方法は幾らでもあると思う。

事務局：読み聞かせに必要な大型本は南部図書館にも在庫があるので使っていただきたい。

委員：高学年に対しては絵本ではなく通常の本を読んでいる。「これから、これについてお話する

けど、イメージで、目と耳と頭で想像してね」と言っている。低学年は絵本を読んでいる。

委員：読み聞かせについて。私は山王小学校の学校評議員をやっている。山王小学校では「信州型コミュニティスクール」の中でボランティアの方に本の読み聞かせをやっていただいている。近くに長野放送があるので、アナウンサーの方に月に何回か、朝礼（体育館に集まって）の際に本を読み聞かせをしてもらっている。学校との連携で工夫をすれば、自分たちが読み聞かせしなくても誰かにお願いしてできると思う。

委員長：図書館の皆さんもいろいろ考えながら聞いていただいたと思うが、良い時間になった。ありがとうございます。2回目の会議はいつ開催するか。

事務局：2月開催の予定である。

委員長：内容的には何をやるのか。こういういろいろな意見を言う場面があるのか。

事務局：今年度の実施報告及び来年度の計画について説明する。

委員長：こんなに中身が詰まった概要をいただけると思っていなかった。まだわかってないことがたくさんあるので、また読んだり情報を取ったりしたい。多分2回目はもっといろいろ言いたくなると思う。では、協議事項についての皆さんからのご意見ご感想はこれで閉じる。ご協力ありがとうございました。事務局へお返しする。

（8）その他

事務局：次回の図書館協議会については、2月に長野図書館で開催の予定。またご案内等させていただきます。

（9）開会

教育次長：長時間にわたり本当に熱心にご議論いただき感謝申し上げます。参考にしなければいけないご意見等をいただいた。また第2回があるので、引き続き市立図書館の運営にご協力いただくようお願い申し上げ、本日の御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。これからもよろしく申し上げます。